

病害虫発生予察情報
7月月報

令和6年8月21日
東京都病害虫防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2024年 7月	気温（℃）						降水量		日照時間	
	最高		最低		平均		（mm）		（h）	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年比	本年	平年比
								（％）		（％）
上旬	34.5	5.5	24.5	3.4	29.0	4.4	6.5	10.5	64.2	164.6
中旬	30.8	0.5	23.2	1.0	26.4	0.6	65.5	128.4	31.4	67.0
下旬	36.5	5.1	25.3	2.2	30.0	3.4	84.0	164.7	89.3	146.9
平均	33.9	3.7	24.3	2.2	28.5	2.8				
合計							156.0	95.0	184.9	126.0

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所
※ 平年差（比）：平年値（1991～2020年の平均値）からの差（比）

＜天候概況＞

上旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、前線や湿った空気の影響で雨の降る日があり、6日は雷を伴って大雨となった。期間を通して暖かい空気に覆われたため、気温のかなり高い日が多くなった。

中旬：期間の中頃までは前線の影響で曇りや雨の日が多く、期間の終わりは高気圧に覆われ晴れたが、20日の夜は雷を伴い大雨となった。関東甲信地方は7月18日ごろ梅雨明けしたとみられる（速報値）。

下旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、気圧の谷や湿った空気の影響で雨や雷雨となる日もあり、31日は大雨となった。24日は多摩地方で突風が発生し倒木などの被害があった。期間を通して暖かい空気に覆われたため、気温のかなり高い日が多くなった。

2 作物生育概況

（1）イネ

生育は概ね順調であった。

（2）野菜類

果菜類：高温と強い日射の影響で、トマトで日焼け果、着色不良、裂果の発生が見られた。スイートコーンは風雨による倒伏が見られた。

葉根菜類：キャベツ、ブロッコリー等の播種が始まり、苗は徒長気味であった。ニンジンでは発芽不良が見られる。

イモ類：サツマイモの生育は概ね順調であった。

（3）果樹

農林総合研究センターの果樹圃場（灰色低地土）におけるナシ主要品種の生育状況は以下のとおりであった。

幸水：定期的な降雨により、順調に肥大が進んでいる。

(4) 茶樹

ごく一部の圃場で炭疽病が発生したが、おおむね生育は良好であった。全体的に大きな病虫害被害はない。

3 病虫害の発生概況

(1) イネの病虫害

いもち病（平野部）	< 少 >	発生は少なかった。
いもち病（山間部）	< 少 >	発生は少なかった。
紋枯病	< 少 >	発生は少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< やや多 >	発生はやや多かった。
セジロウンカ	< やや多 >	発生はやや多かった。
斑点米カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

(2) 果樹の病虫害

ナシ

黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
黒斑病	< 少 >	発生は少なかった。
赤星病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ	< 多 >	フェロモントラップ及び予察灯における誘殺数は多かった。
クサギカメムシ	< 多 >	予察灯の誘殺数は多かった。

(3) 茶樹の病虫害

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生はフェロモントラップにおける誘殺数は平年並であった。
チャハマキ	< やや少 >	発生はフェロモントラップにおける誘殺数はやや少なかった。
チャノホソガ	< やや少 >	発生はフェロモントラップにおける誘殺数はやや少なかった。
ナガチャコガネ	< 少 >	予察灯の誘殺数は少なかった。

(4) 野菜の病虫害

トマト

モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
白ぶくれ症	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コナジラミ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

タバコガ類	< 並 >	発生は平年並であった。
キュウリ		
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
ナス		
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コマツナ		
白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
キスジノミハムシ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギ		
黒斑病	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギアザミウマ	< 多 >	発生は多かった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
(5) 花きの病害虫		
シクラメン		
ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
花き共通の病害虫		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
(6) 島しょの病害虫		
島しょ地域では多発生の病害虫は認められなかった。		

4 侵入調査

チチュウカイミバエ	< 誘殺なし >
ウリミバエ	< 誘殺なし >
クインズランドミバエ	< 誘殺なし >
ミカンコミバエ種群	< 誘殺なし >
トマトキバガ	< 誘殺なし >

病害虫防除所ホームページ

[https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp](https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/)
[/nourin/shoku/anzen/boujyo/](https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/)

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、
防除のポイントなどをお知らせしています。